

だから私は 失敗した!

成功への行動理論

人生楽しんで いますか?

◆人生って何だろう

人生、欲張らず、まじめにコツコツ生きていけば、必ず良いことがある。これって、本当? 正直に、誠実に、人のために生きる。それが人の道。これって、本当? 人生の美学や生き方の名言は、世の中たくさんある。確かに、素晴らしい言葉だとは思

今だからこそ 失敗していた 行動理論といえる

【心得モデル】

無駄な抵抗はやめよう

【因果理論】

すべての状況は自分の力では(因)、どうにもならない(果)

【人生観】

人生はしょせん運次第

うが、何だか、嘘くさいと感じたことはないだろうか? :

事実、まじめにコツコツ生きていたって、良いことがない人は大勢いるように観えるし、むしろ欲張って要領よく生きている人のほうが、人生うまくいっているように観えることはないだろうか。

正直に、誠実に、誰かのために…、この世界でそんなことをしていたら、都合よく他人に利用されるだけ!

結局、嘘とタテマエを上手に使いこなすことが出来る人間こそ、世渡り上手と言われ、楽しく自分の人生を送っているように観える。つまりこの世の中、自分がどう生きようが、うまくいくかないかは、運次第なのだ。悪いことをしても、見つかるかどうかは運次第。見つからなければ、やっていないのと同じ。結局は正直者が馬鹿をみるように、世の中の仕組みはできている。どんなにキレイな言葉を並べたてたって、現実はそのようにキレイなものではないのだ。これが私の持っていた行動理論だ。

◆不快・我慢・限界・その後…

人は、自分の行動理論(人に働きかける場合、本人の思考プロセスと行動選択における判断を方向づけている、その人なりの信念体系)と違う行動理論で、他人に働きかけられると、不快な感情が生じ

る。例えば私の場合は、

「無駄な抵抗はやめよう、人には干渉しないのが一番」

「どうせ自分には状況を変えることはできない」

という行動理論である。

だから、人に干渉されると、イライラしたり、うつとうしいと感じる。また誰かに指示されると、「だったら自分がやれば?」自分の価値観を人に押し付けるな」と不快な感情が生じるのである。

それなのに、振り返ってみると、なんとも運の悪いことに、驚くほど私の人生は、親や友達、先輩・上司・同僚までも、周りはいくいう人間ばかり! という最悪の人生だった。

ジェックに入社してからも、周りは、私にとつてはうつとうしい人ばかりで、我慢、我慢を重ねる日々だった。

そして遂に限界がやって来た。それまでは「うつとうしい」と感じながらも、仕方なく周りに合わせていた私だったが、あるとき、先輩の話を聞いていたときに頭をよぎった。

「もういい加減にして!」

そう思った次の瞬間から、その先輩の言葉は、一切耳に入ってこなくなつた。そして、一生懸命に話す先輩を見ながら、「何をこの人は、こんなに一生懸命になつて話している

失敗した!

「んだろう?」と、私はあきれていた。

しばらくしても先輩の話は止まらず、私は少し冷静になって原因を考えてみた。

「この関係をつくったのは、私?」

「私が今まで何も言わずにずっと黙って流されていたから、こういう状況になったの?」

「どうにかしたい。そして、これは自分でどうにかするしかない!」

そして、遂に一言。

「もうわかりましたから」

そう言えば話が終わると思ったのに、終わらなかった。なぜ? 改めて考えたのは、

「何でこの人こんなに私に干渉するの?」

嫌がらせ? 目の前の先輩が話しているのは、誰でもない私のことだ。しかも、私自身は特に重要だと感じていないこと。なぜそんなことを一生懸命話しているのだろうか? 一体何なの?」

ということだった。

「この人は、私以上に私のことを考えて、心配して、一生懸命話しているのだ」

それが我慢の限界を超え、行動を起こし、相手の反応に混乱し、考えに考えて、そしてたどり着いた、私の答えだった。それ以外に思いつく答えがなかった。

そう考えると、何だか不思議と、うれしく温かい気持ちになり、自然と、「ありがとうございます」という言葉が出てきた。

さつきまで、単にうつとうしい塊でしかなかった人に、全く違う感情がわいてきた。そして、改めて先輩の話に耳を傾けてみると、そのメッセージは、「あなたならもつとできる」、「きつとできる」という、私以上に私に期待し、応援してくれるものだった。

そこで改めて、今まで、うつとうしいと思っていた周りの人たちを、思い返してみた。すると、実は私は、私以上に私のことを考えてくれる、たくさんの人たちに囲まれていたんだということに気づくことができた。最悪どころか、どれほど幸せな人生だったのかと…。

「人生運次第、無駄な抵抗はしない」と思い込んでいた私には、「人生は自分次第、あなたならもつとできるはずだ」という周囲からのメッセージは、不快でしかなかった。この、私の誤った行動理論は、大切な人を遠ざけ、傷つけ、そして、いつも私を独り孤独だと感じさせていた。

◆人生を自分で切り拓く

われわれの人生のステージでは、日々さまざまな出会いや出来事があつて、何が起こるか分からない。それには運もあるかもしれない。しかし、そのステージを運次第だと流されて生きるのか、それとも、自分次第だと切り拓いていくのか、どんな状況においても決めるのは、結局自分なのだ。つまり、

『人生は自分次第!』

そして、やはり人は誰しも自分の人生を、誰かのために、まじめに、正直に、誠実に生きたいと思うし、皆そうあつてほしいと思うのではないだろうか。

そうだ! これが私の
成功の
行動理論だ!

【心得モデル】

個性を発揮し可能性に挑戦しよう

【因果理論】

すべての状況を活かすも殺すも(果)、自分次第(因)

【人生観】

人生は自分次第